



資料 3

邑南町

地域コミュニティのあり方検討委員会

－ 会議資料 －

## 第4回 地域コミュニティの組織体制

2022年10月24日

邑南町地域コミュニティのあり方検討委員会準備会

1. 中間まとめ（これまでのふりかえり）
2. 邑南町版地域運営組織の定義
3. 地域運営組織の体制
  - （1）組織の連携
  - （2）地域計画
  - （3）地域課題解決
4. 地域運営組織への財政支援

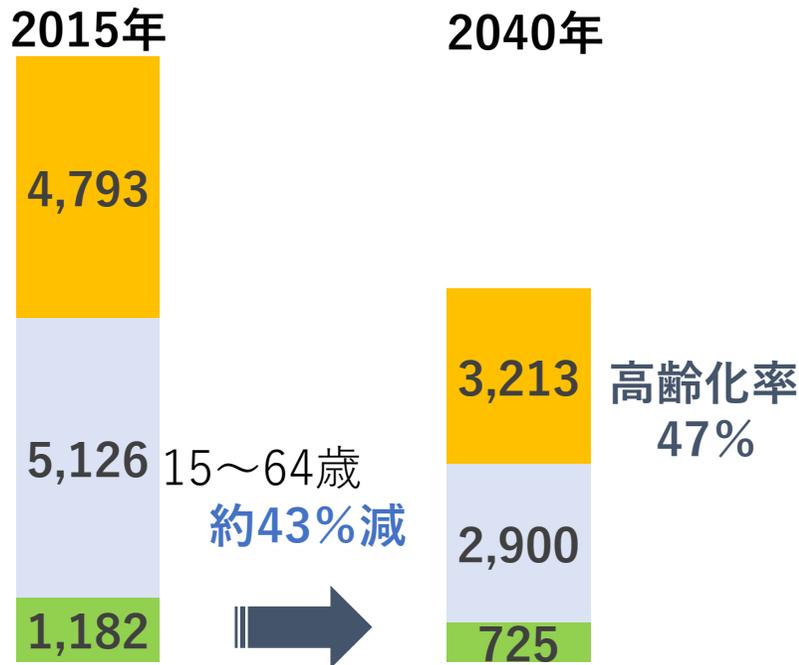
# 地域の現状と問題

町レベル : 担い手人材の減少による15～64歳世代の負担の増加

地区レベル : 目的型組織の意思決定参加のためのあて職の増加

自治会レベル : 役員の担い手不足、活動のマンネリ化

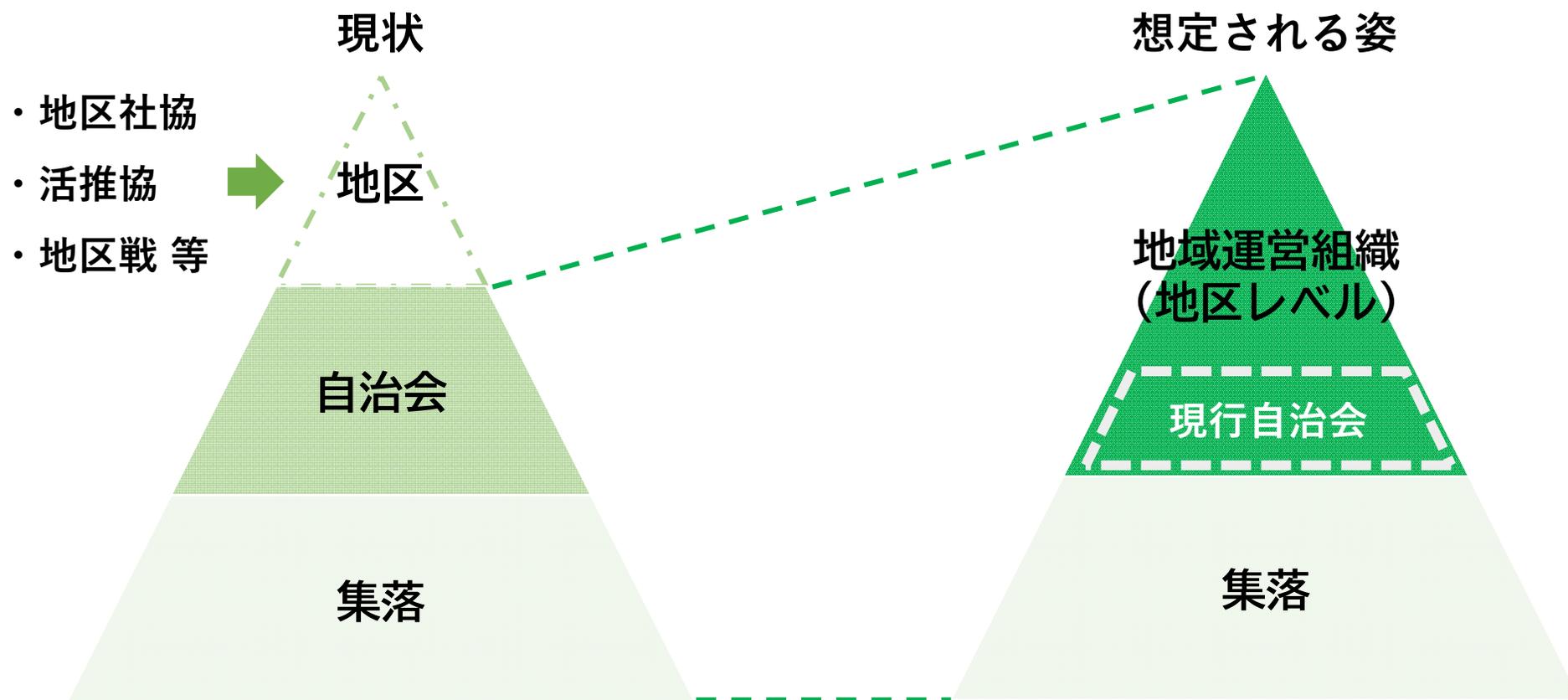
集落レベル : 集落レベルのコミュニティ機能の確保



少子高齢化、人口減少に加え、社会の大きな変化に対応し、10年後、20年後も安心して暮らせる地域の方向性を見出す

# コミュニティの持続可能性を高めるための方策案

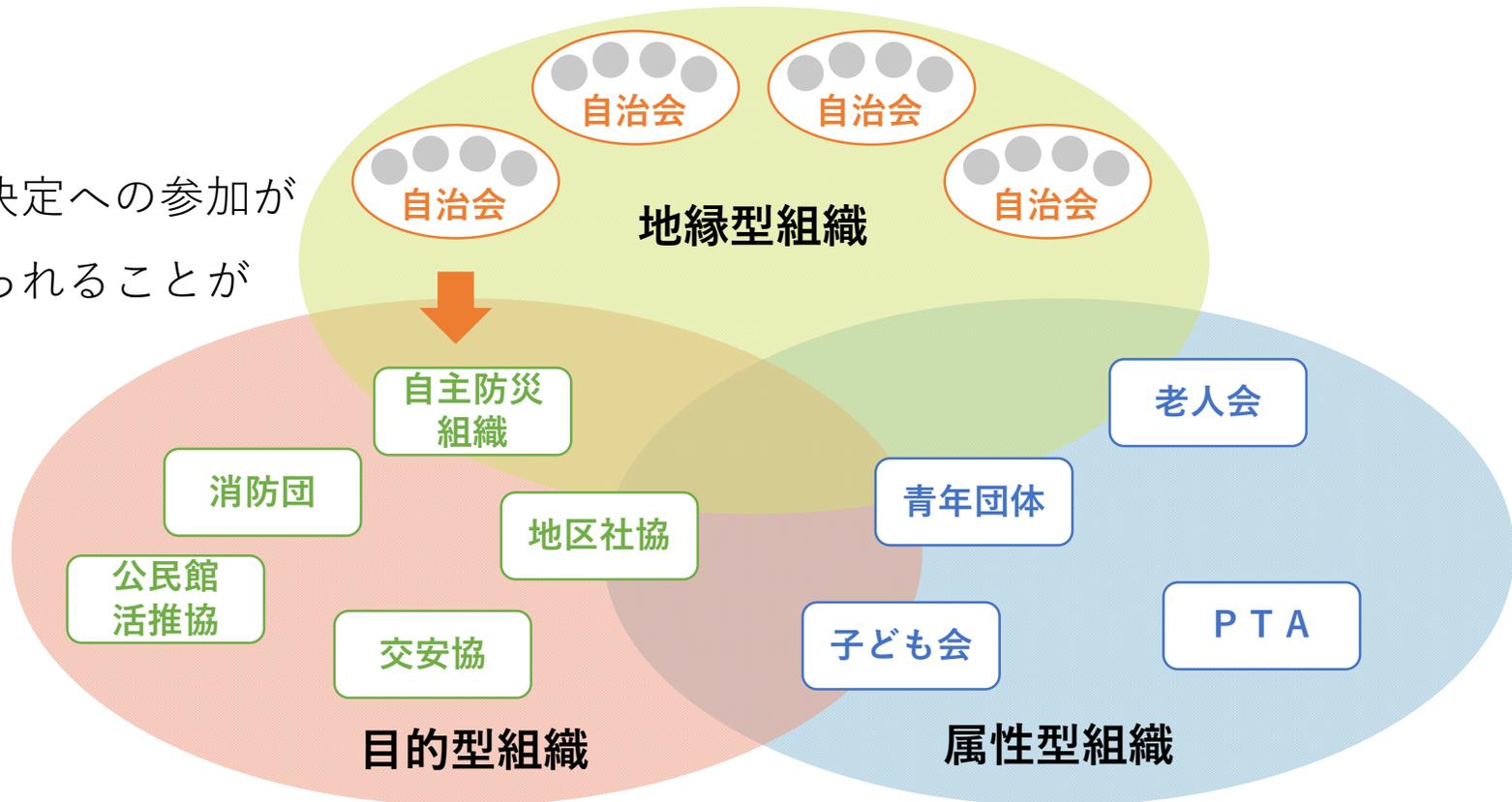
- ・ 集落レベルと地区レベルのよりシンプルな構造に
- ・ 地区レベルの組織は地域運営組織として集落の機能を補完



# 現在の地域住民による組織の状況

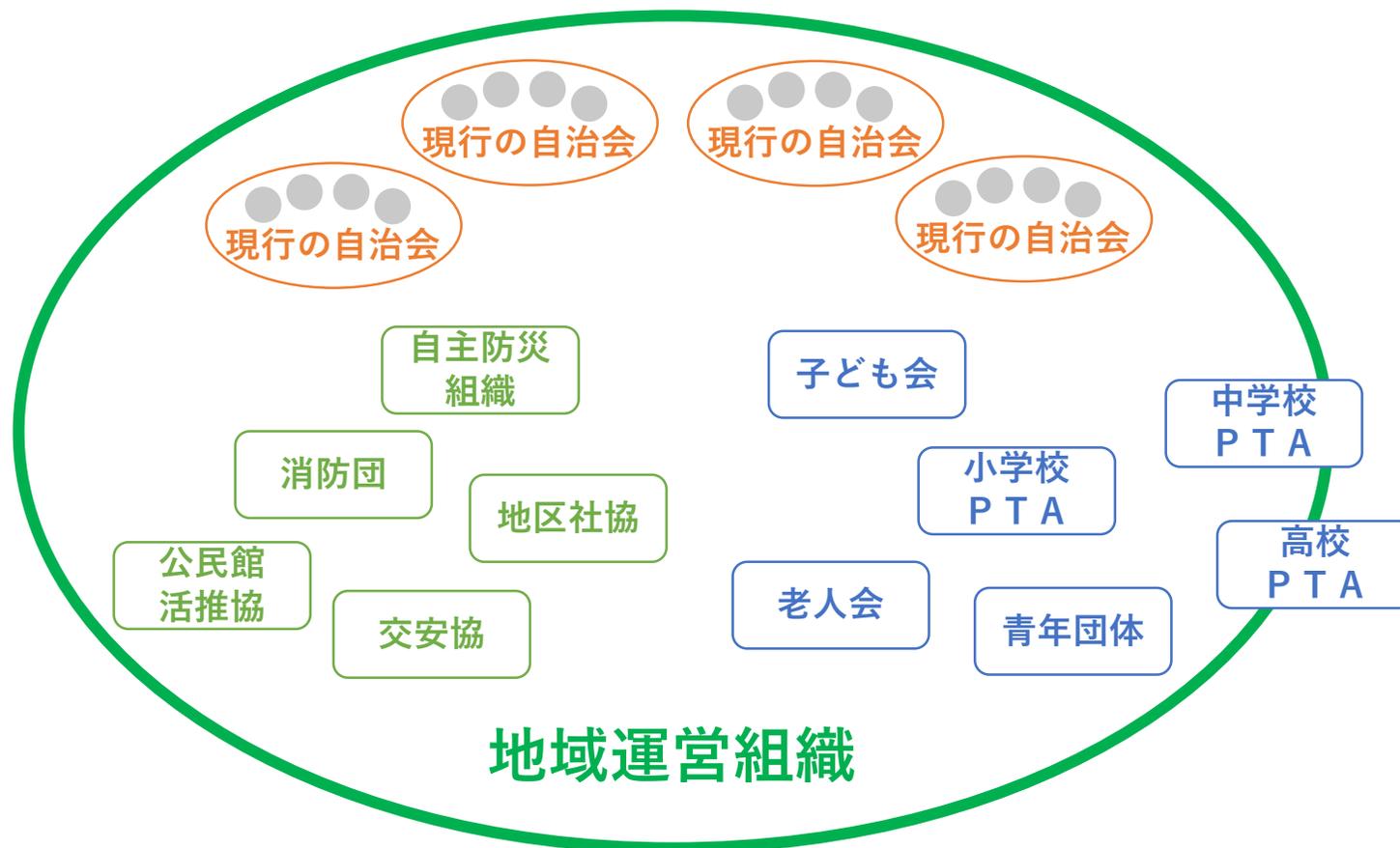
概ね地区レベルには事業実施など目的達成のために組織された「**目的型組織**」、性質ごとに組織された「**属性型組織**」があるが、「**地縁型組織**」が地域代表的な役割を担っている。

意思決定への参加が  
求められることが  
多い



# 地域ぐるみで地域課題解決に取り組む体制づくり

地縁による住民・団体が連携した「地域運営組織」を作ることが求められる



# 地域コミュニティにおける多様性の尊重

誰もが参加できる地域コミュニティへの変容も求められる。

【住民参加のはしご】  
『住民の権利としての参加』までのステップを示したもの

8	住民主導
7	部分的な権限委任
6	官民の共同作業
5	形式的な参加機会拡大
4	形式的な意見聴取
3	一方的な情報提供
2	不満をそらす操作
1	世論操作

住民参加のはしご			
住民の力が生かされる住民参加	8	住民主体の活動に行政を巻き込む	
	7	住民主体の活動	
	6	住民と行政との協働、決定権の共有	女性・若者・子どもと年長者との協働、決定権の共有
印としての住民参加	5	行政主導で住民の意思決定のある参加	年長者主導で女性・若者・子どもの意思決定のある参加
	4	与えられた役割の内容を認識したうえでの参加	与えられた役割の内容を認識したうえでの参加
	3	形式的住民参加(限定された参加)	形式的参加(限定された参加)
住民参加とは言えない	2	お飾り住民参加(利用された参加)	お飾り参加(利用された参加)
	1	操り参加(趣旨や役割の不明確な操られた参加)	操り参加(趣旨や役割の不明確な操られた参加)

1. 中間まとめ（これまでのふりかえり）
2. **邑南町版地域運営組織の定義**
3. 地域運営組織の体制
  - （1）組織の連携
  - （2）地域計画
  - （3）地域課題解決
4. 地域運営組織への財政支援

## 2. 邑南町版地域運営組織の定義（案）

年代が異なる住民や目的が異なる団体などが地縁でつながり、地域の目指す方向性を共有し、地域ぐるみで地域の課題解決に取り組む



### 組織の連携

年代が異なる住民や目的が異なる団体などが地縁でつながり

- ・ 地域内の多様な主体が運営に関わる仕組みがある



### 地域計画

地域の目指す方向性を共有し

- ・ 連携して取り組んでいく課題、達成状況を共有している



### 地域課題解決

地域ぐるみで地域の課題解決に取り組む

- ・ 対話し、連携を深め、地域の強みを活かした取り組みを行っている

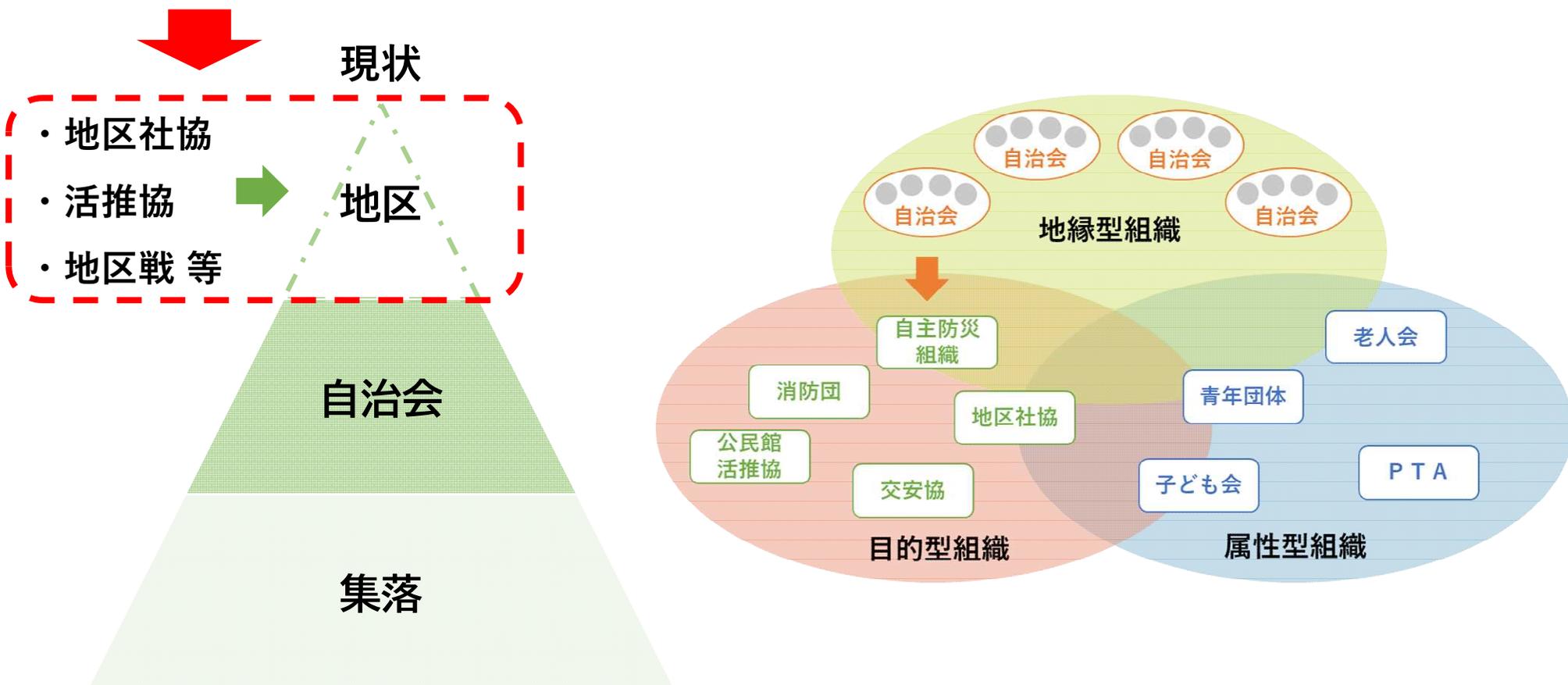
地域全体の課題解決能力が高まる仕組みを持った組織

1. 中間まとめ（これまでのふりかえり）
2. 邑南町版地域運営組織の定義
- 3. 地域運営組織の体制**
  - （1）組織の連携**
  - （2）地域計画**
  - （3）地域課題解決**
4. 地域運営組織への財政支援

### 3. (1) 組織の連携

## 現状の地区レベルの組織の連携に関する問題

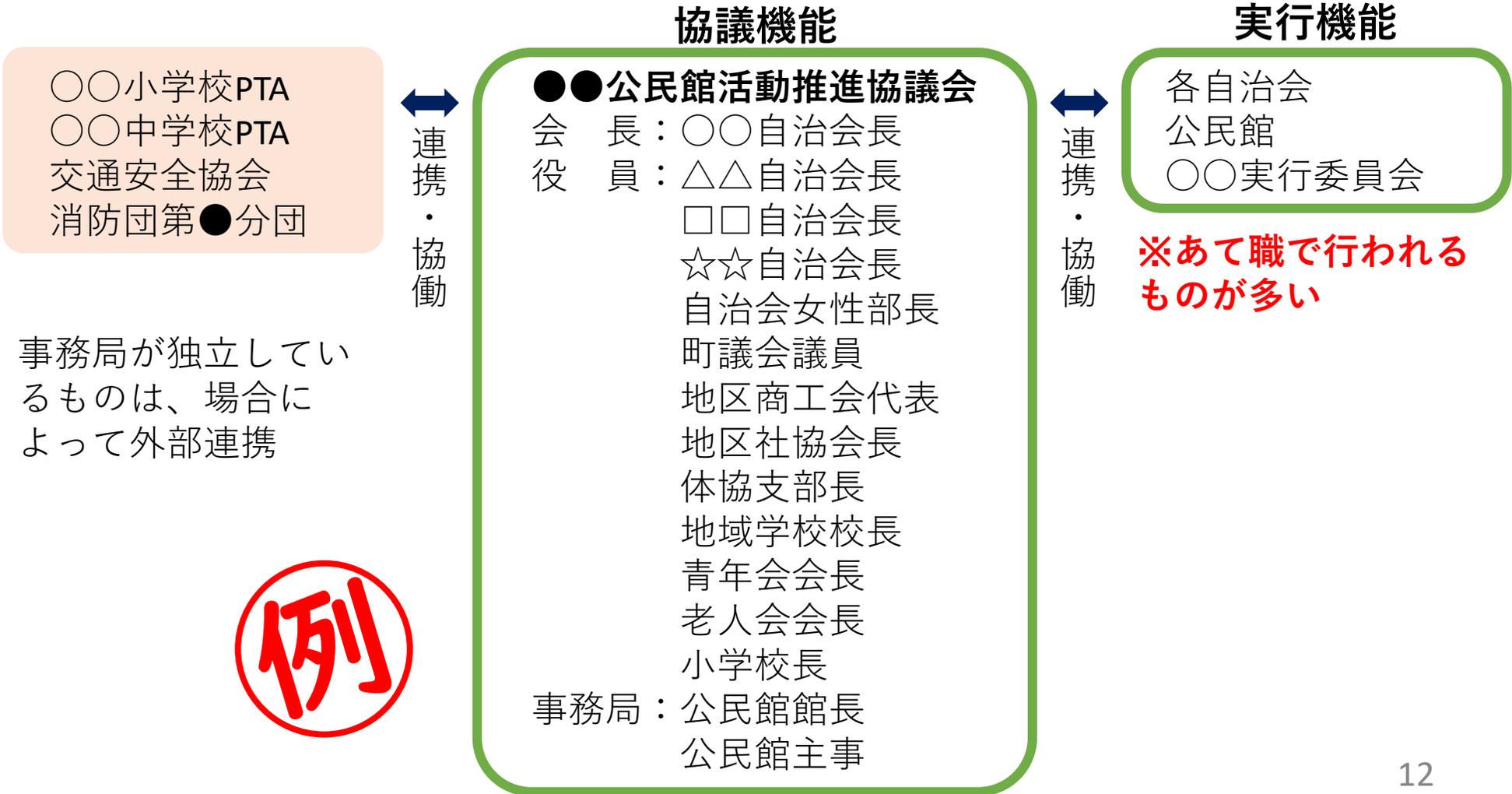
### 地区レベルの組織体制について



### 3. (1) 組織の連携

#### 【現在の組織体制の例】

- ・ **公民館活動を推進するための協議会** ≡ **地域協議会** という体制がみられる。
- ・ 行政側の設置目的と地域側の参加意思がマッチしていない可能性がある



### 3. (1) 組織の連携

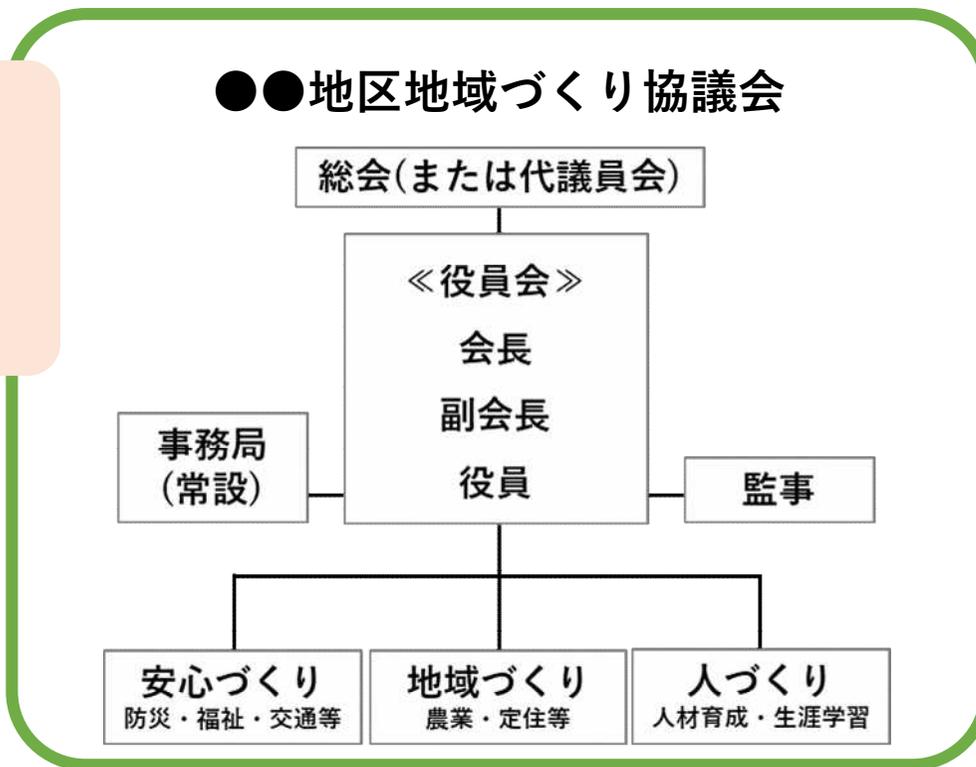
- ・ 協議機能と実行機能が一体となった組織を概ね**地区レベル**で再構築する。
- ・ 地域づくりを目的とした組織として地域と行政で同じ認識を持つ。

#### 協議機能 + 実行機能



- 小学校PTA
- 中学校PTA
- 交通安全協会
- 消防団第●分団
- 中山間直払い

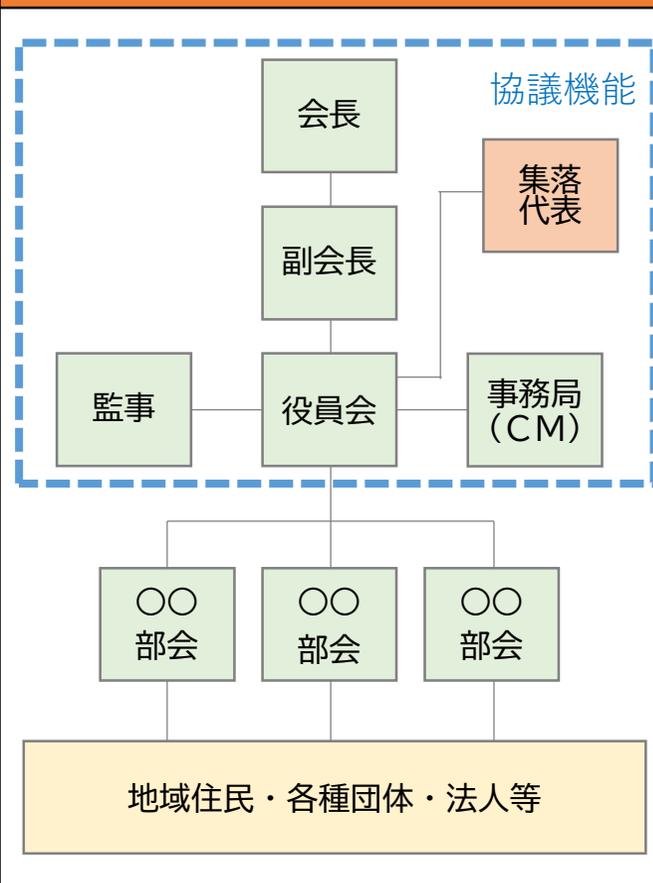
地域の実情に応じて構成に加わるか、外部団体として連携するかは検討が必要



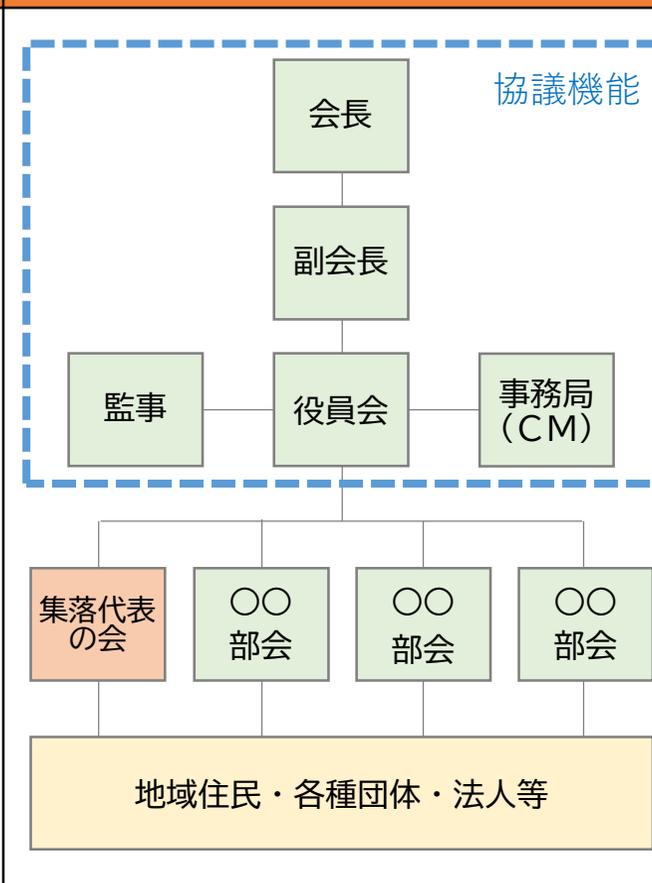
### 3. (1) 組織の連携

#### 集落との関わり方（参考：兵庫県豊岡市）

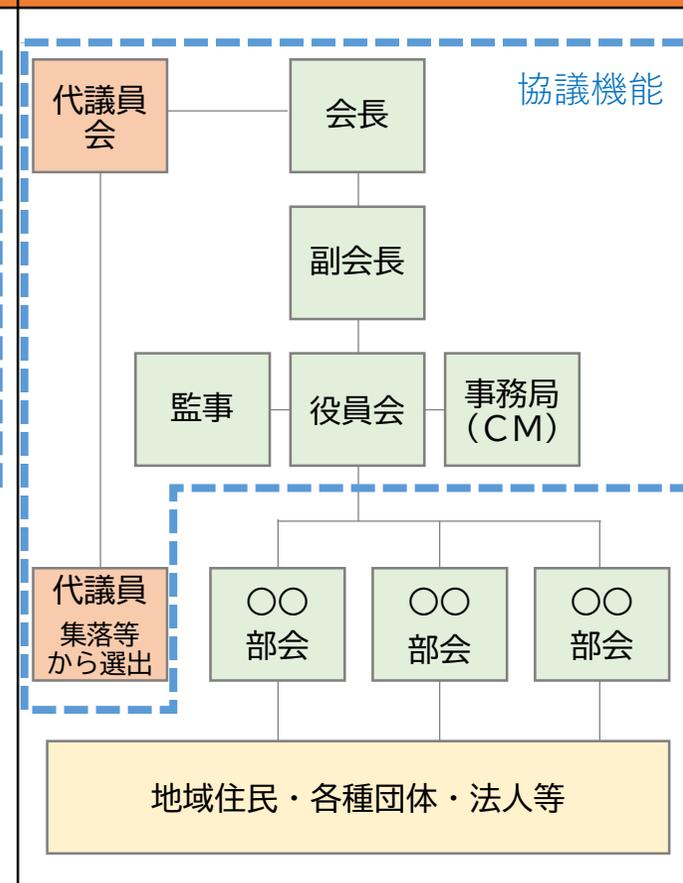
① 集落長等が運営に参画



② 集落長等が構成組織となる



③ 集落長が運営内容を審議・承認



- ・ 事業の決定プロセスに集落の意見を反映できる
- ・ 集落との調整がしやすい
- ・ 現在の自治会体制とあまり変わらないと思われる

- ・ 集落との調整がしやすい
- ・ 集落間連携の可能性がある

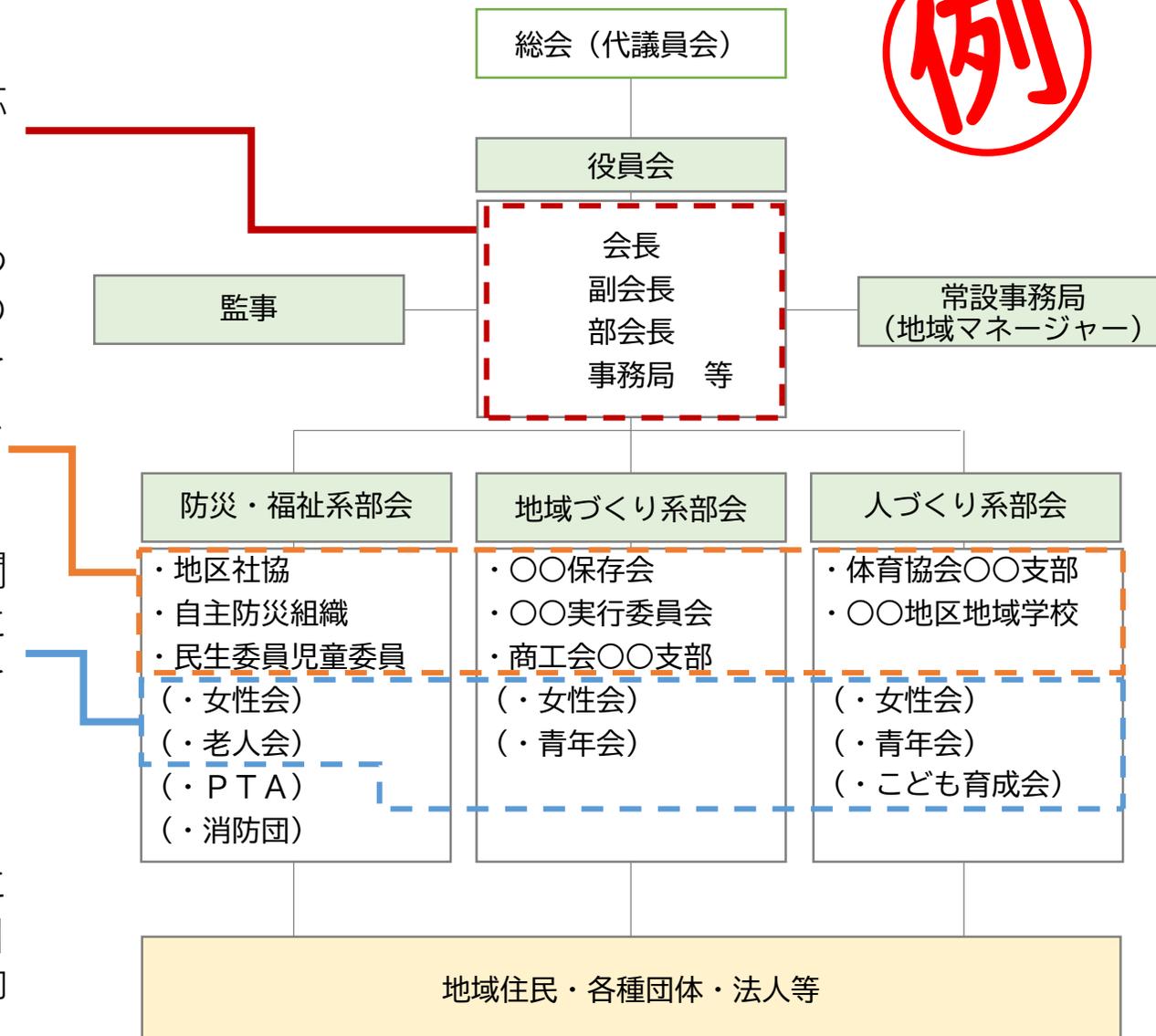
- ・ 集落としては年1回程度の総会のみなので、負担軽減が考えられる
- ・ 役員や部会に一任することになるので地域計画の方向性が重要

### 3. (1) 組織の連携

#### 既存組織・団体との関わり方

##### 検討事項

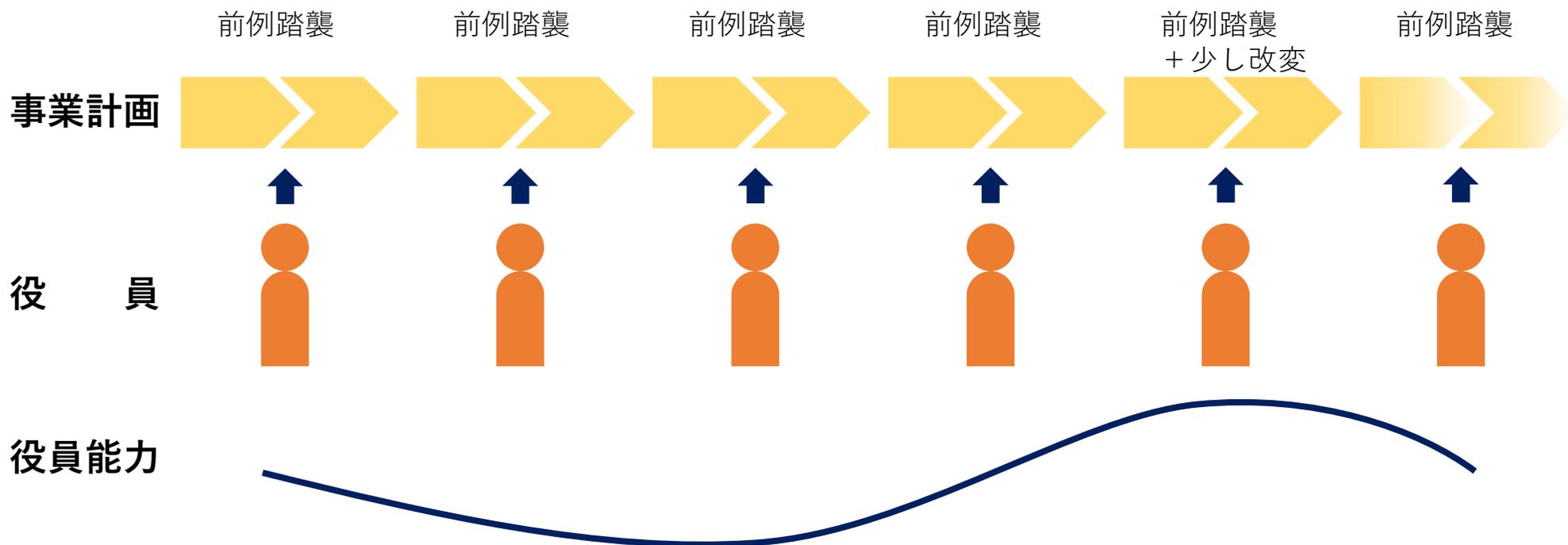
- ・役員構成は地域の実情に応じたものとなる必要がある。
- ・部会には既存の組織が加わる。ただし、部会がそれらの機能を担い、事務局・会計を統合するなど負担を減らすことが考えられる。
- ・属性型組織は、多分野に関わることになる。運営方法によっては、あて職的な会議を減らすことは可能。場合によっては解散も検討される。
- ・団体等の漏れがないように地域内で組織やその組織の目的・活動内容・課題等の棚卸が必要。



### 3. (2) 地域計画

#### 現在の問題

- ・ 単年度ごとの事業計画を作成し、事業を実施している。
- ・ 役員は概ね2年任期のため前例踏襲の行事実施になる傾向にある。
- ・ 1年目の事業計画は前任役員が作成したものになる。
- ・ 運営は任期中の役員能力による影響がある。役員個人の意見になりやすい。



### 3. (2) 地域計画

#### 地域計画をつくることによる住民参画の拡大

- 《ポイント》・地域計画づくりの老若男女が発言する機会が作られる（当事者意識）。
- ・地域の課題解決に向けた取組を地域住民内で共有できる。
  - ・地域計画が後ろ盾となり、代表・役員の意見≒地域の意見になる。
  - ・運営に関わる人が学ぶことができる仕組みを整備する必要がある。



地域計画



事業計画



役員

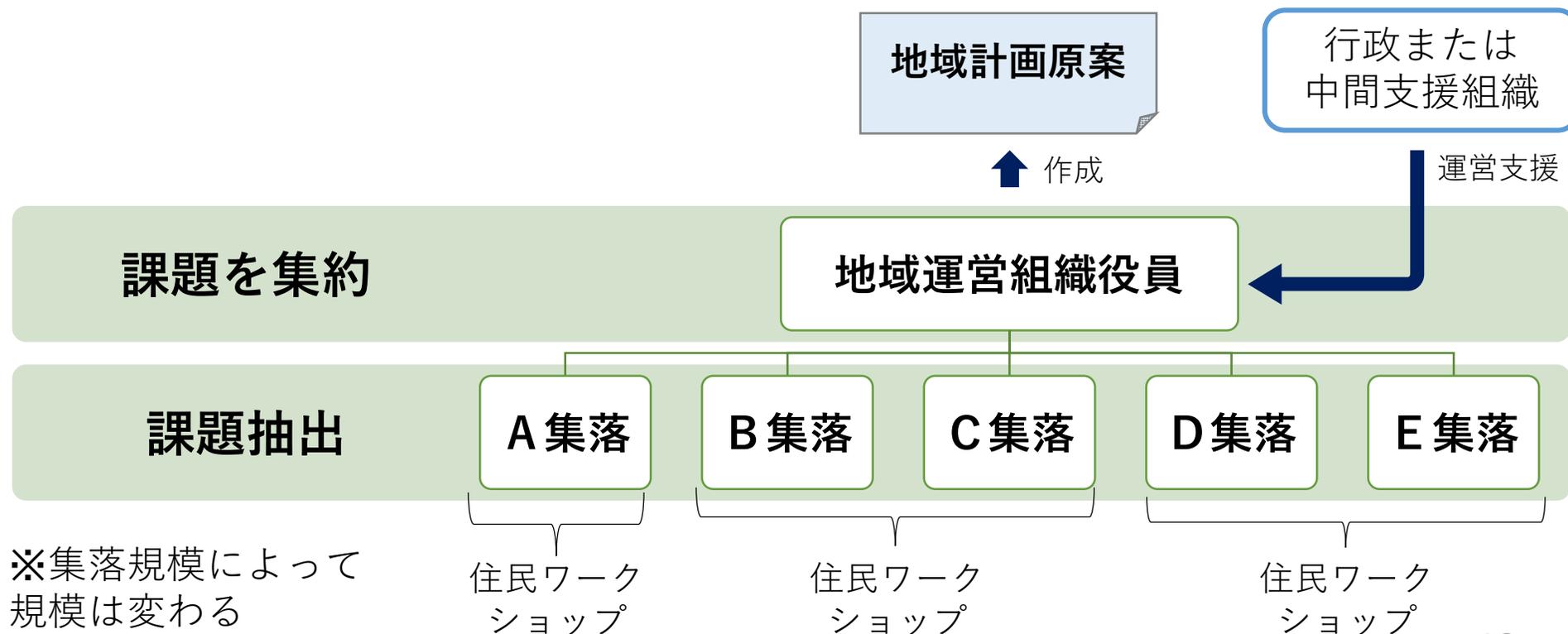


### 3. (2) 地域計画

#### 地域計画づくりの具体的方策

##### 《住民ワークショップの実施》

- ・ 集落単位をベースに、世帯単位ではなく個人単位で参加
- ・ 原案に対する意見を述べるのではなく、日ごろの困りごとなどを出し合う場



### 3. (3) 地域課題解決

#### A 安心づくり

高齢者の生活支援や災害時の要支援者への支援、高齢者・子どもの見守り、子育て支援、防災活動など安心して暮らせる地域を作るための取り組み

##### 《具体的な取組例》

- ・ 高齢者、子どもの見守り活動
- ・ 運動教室など健康づくり
- ・ 交流サロン等の設置・運営
- ・ 子どもの居場所づくり
- ・ 移動販売や配食サービス
- ・ 除雪活動支援
- ・ 防災訓練や災害時の避難所運営 など



【事例】 商店が少なくなった地域で移動販売車を運営

### 3. (3) 地域課題の解決

#### **B** 地域づくり

長期的な視点での地域づくりに向けて、地域課題の把握や地域資源の掘り起こし・活用などへの取り組み

《具体的な取組例》

- ・ 空き家の把握
  - ・ 移住者の受け入れ、アフターフォロー
  - ・ 地域資源の掘り起こし・活用
  - ・ 地域産業の振興
  - ・ 農地・林地の保全
  - ・ 環境美化活動や啓発
- など



【事例】 空き家を改修して飲食店や宿泊施設を運営

### 3. (3) 地域課題の解決

#### C 人づくり

共に地域をつくり、地域の魅力を次代へつなぐ担い手を育成するための  
取り組み

《具体的な取組例》

- ・ 住民参画の促進
  - ・ 子ども活動の支援
  - ・ 生涯学習活動
  - ・ 次世代（担い手・子ども）の育成
  - ・ 伝統文化の継承
  - ・ 地域内広報活動
- など



【事例】 住民が地区の将来について  
考えるワークショップを開催

1. 中間まとめ（これまでのふりかえり）
2. 邑南町版地域運営組織の定義
3. 地域運営組織の体制
  - （1）組織の連携
  - （2）地域計画
  - （3）地域課題解決
- 4. 地域運営組織への財政支援**

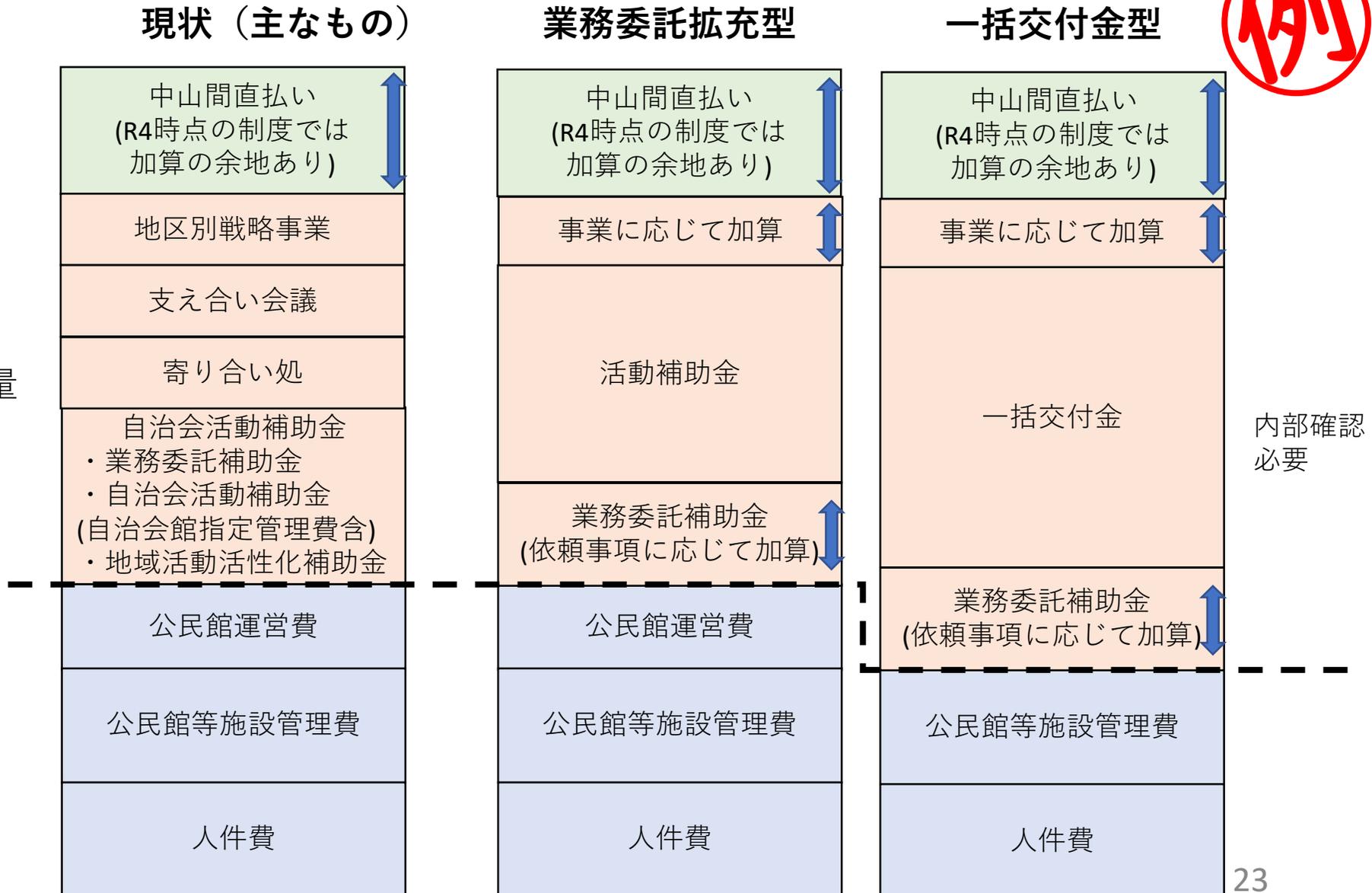
# 4. 地域運営組織への財政支援

他地域の例からシミュレーション

地域が必要だと考える活動と行政が必要だと考えるものに取り組みやすくする



地域の裁量



## 4. 地域運営組織への財政支援

地域で取り組まれていることや町から地域へお願いしていることの一例

### 地域での主な取り組みの例

農地等の維持管理	鳥獣害対策	環境美化活動(清掃活動)
道路の草刈り(生活圏内)	伝統行事の実施・継承	集会施設の維持管理
防犯・防災・交通安全活動	見守り活動	集いの場づくり
近所の除雪	買い物支援	移動支援
移住者の定住支援	健康づくり	生涯学習
人材育成	子ども活動	外灯設置
広報等の配布	ごみボックスの管理	調査業務
報告書等の取りまとめ	農地パトロールへの協力	地域内の草刈り(生活圏外)
避難所運営	サロン運営	配食サービス
会費等の集金		

# 今回、ご意見いただきたいこと

## 地域運営組織の構築の仕方

1. 集落の関わり方はどのような形が望ましいか。
2. 現行自治会の組織をどう考えるか？また、自治会館はどう考えるか？
3. 協議機能はどのような形が望ましいか。
4. 既存の目的型組織や属性型組織はどう考えるか？  
残したまま専門部会を構成する一員となるか？解体して再編するか？

## 地域運営組織の進め方

1. 地域運営組織と公民館の関係はどうあることが望ましいか。
2. 若者の行事や事業に対する意見はどこで発言され、どこで受け止められることができるか。地域計画づくり以外にもそういう場がつかれるか。